

地域に根ざしたSDGs活動

ほうきの会
×
ブルーム・ネクスト

一人の善意から始まった 美化活動の広がり



地域の方々と大学を繋ぐ清掃ボランティア活動

毎週火曜日の朝7時半から、香川大学周辺の歩道を清掃していた
だいたいの方々をご存じですか。その団体は「香川大学環境美化支援の会 ほうきの会」。地域の方から大
学の教職員・学生まで、様々な方が
参加するボランティア団体です。活動は、「近所にお住まいの牟禮さん
の何気ない行動から始まりました。

ある日、日課のウォーキングで大
学前を通りかかった牟禮さんは、道
路に散乱したゴミを見かね、大学から
ほうきを借りて人で掃除を行いました。その日以後も掃除活動を
続けていると、それを見た地域の方
や大学教職員・学生が徐々に参加
するようになり、火曜朝の清掃が
定着。この活動は20年を経た現在
も続いて、近隣の公園など、サン
ポートの清掃活動などにも広がっています。



コロナ禍で
失われた人の関わりを、
ほうきの会が繋いで
くれました。



- 前列/ほうきの会代表 牟禮絲津子(しづこ)
- 後列左/ほうきの会 香川大学研究戦略室特命准教授 玉川晋二郎
- 後列中/ブルーム・ネクスト
香川大学教育学部学校教育教員養成課程3年 愛媛県立今治東中等教育学校出身 山田夏希
- 後列右/ブルーム・ネクスト 香川大学法医学部法学科3年 姫路市立姫路高校出身 大塚觀月

大学構内を花で彩る 学生サークル

この清掃活動に共感した学生有志が立ち上げたのが「ブルーム・ネクスト」。そのきっかけは、コロナ禍で人と出会う機会が減り寂しく感じていた中、偶然参加したほうきの会での清掃活動でした。普段の学生生活では体験できなかった地域の方との交流に魅力を感じ、それがきっかけとなり学生主体のボランティアサークルが発足しました。名前には、「bloom(ほうき)」と「bloom(花が咲く)」の2つの意味が込められています。

ブルーム・ネクストは、朝の清掃活動では、集めたゴミの処分など活動を支える裏方としても活躍。さらに正門前の花壇やプランターに花を植えたり、冬には学内でイルミネーションを点灯するなど、学内緑化・美化活動を続けています。お話を伺った学生の大塚さんと山田さんは、花の購入費を大学と交渉したり、夏休みの水やりなどを苦労も多い中、花やイルミネーションを眺めたり写真を撮ったりしている人たちを見かけるたびに、喜びを感じているそうです。牟禮さんから始めた活動は、学生にも受け継がれ、新たな花を咲かせています。

NHK高松と香川大がコラボした企画「さぬきSWITCH!」がNHK「ゆう6かがわ」で放送されました。学生の地域活性化の取組を発信したいと考えていた香川大と、番組を通じて地域貢献したいと考えていたNHK高松、双方の想いが合致して生まれた「香川をサス

学生と一緒に 香川の未来を考える番組



NHK高松
×
香川大学生

テナブルな未来へと“SWITCH”していくためのヒントを学生の目線から考える「ミニ番組」です。学部を越えて集まつた学生たちとNHK高松のスタッフでディスカッショングして地域課題を考え、テーマ検討。さらに取材先との交渉、事前取材、撮影同行やインタビューも実施しました。番組ではナレーションを務め、スタジオにも生出演。新しい地域活性化の取組として注目を集めました。



NHK高松
×
香川大学生

学生の視点で地域の問題を考える テーマで番組を制作

学生はテーマごとにA・Bの2チームに分かれて制作しました。Aチームのテーマは「地域活性化」で、まんのう町の耕作放棄地を再生して蕎麦を作っている方々を取材。「地域活性化には、昔のものを甦らせる」とも大切だと知ったと小谷さん。亀川さんは「若者が体験参加することで、地域の方々が笑顔になつたのが印象的だった」そうです。Bチームは「地域農業を元気に」をテーマに、地域の生産者から直接



数々の反響があった今回の番組は、学生が地域を考える場にもなりました。継続取材が予定されるなど、NHK高松と学生たちの新たな取組が進行中です。



さぬきSWITCH!の
詳細はこちら



野菜を仕入れている青果店を取り材。榎本さんは「販売者が野菜を選ぶ際に、キズがあっても味が良いものを使われるというこだわりを知り、とても印象的だった」そうです。

番組制作を通して、日笠さんは「とても貴重な経験だった。企画作りには多くの方が携わり、どう伝えればより良いものになるのか試行錯誤していることが分かった。今後、私が所属する学生団体でも取材の構成やマナーなどに活かしていきたい」と振り返ります。

数々の反響があった今回の番組は、学生が地域を考える場にもなりました。継続取材が予定されるなど、NHK高松と学生たちの新たな取組が進行中です。